

宿泊施設向け

国際基準に対応した持続可能な観光にかかる 取組事例集

令和6年3月
観光庁観光産業課



目次

- はじめに 2
- 持続可能な観光とGSTC基準について 3
 - 持続可能な観光 4
 - GSTCについて 5
- 国際基準に対応した持続可能な観光にかかる取組事例集 6
 - 日本における取組方針 7
 - 取組事例集の見方 8
 - 取組事例集の目次 9
 - **取組事例集** **10**
- 持続可能な観光に係る研修・試験・認証 41
 - GSTCサステナブルツーリズム研修について 42
 - GSTCサステナブルツーリズム試験について 43
 - 認証制度申請手続き（サクラクオリティAn ESG Practice） 44
 - 認証制度申請手続き（グリーンキー） 45
 - 認証制度申請手続き（コントロールユニオン） 46
- おわりに 47

持続可能な観光における宿泊施設の取組は、単に環境を守る道徳的行為を超え、ビジネスの成長と直結すると言われていています。本書は、そうした取組がいかに関ビジネスチャンスを広げ、意識の高い顧客層にリーチするかに関焦点を当て編集されています。日本におけるSDGsや持続可能な観光の従来の解釈は、しばしばCO²削減やごみ削減に偏りがちですが、欧米の解釈はより広範な視野に立っています。旅行者と地域住民が共に地域文化を共有し、旅行がその地域を豊かにすることにより、地域が持続可能な形で繁栄し続けることを目指しています。

この冊子に掲載された事例は、持続可能な取組がビジネスとしていかに重要か、そしてそれがどのように具体的に実行されているかを示すものです。事例を読むことで、「あ、こんなことでもいいんだ。それならうちもやってるな、できそうだな」と気づくことも多いでしょう。これらの取組は、ビジネスの拡大と顧客満足の上昇に直結するものです。持続可能な観光施策は、単なる道徳的・環境原理主義的なものではなく、明確なビジネス戦略として位置付けられています。是非本書を参考にして、自身の取組を見直し、さらなる改善や新たなヒントを得られることを期待しています。

持続可能な観光とGSTC基準について

持続可能な観光とは

訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、
現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光（UNWTOより）



環境保護のためだけでなく、**ビジネス成長の機会**であり、**地域社会の持続可能な発展**を促進する



ビジネスとしての重要性

持続可能な観光はビジネスの面からも非常に重要です。ラベル取得施設の優先販売や、Google検索結果におけるラベル取得状況の明示など、持続可能な施設への需要は高まっています。

また、金融面においても持続可能な取り組みは重要な位置を占めています。サステナビリティ・リンク・ローンは、持続可能な実践を経済的インセンティブと結びつけることで、企業や施設が環境や社会に配慮した活動を続ける動機付けを提供しています。（例：サステナブルな取組をしている事業者は融資が受けられやすくなる。）

データで見る

- ✓ 76%^{*1}の旅行者がより**持続可能な旅行を望む** → 2022年から5%、21年から16%増加
- ✓ 保護者の71.1%、生徒の65.0%、学校関係者の80.7%^{*2}が**SDGsに関連したスタディツアーへの参加意向**を示す→ 教育分野においても持続可能な観光への関心が上昇



地域コミュニティとの結びつき

持続可能な観光の取組は、訪問者と地域コミュニティ間の関係構築にも寄与します。地域の文化や価値を旅行者に共有し、地域コミュニティの豊かさを高めることが、持続可能な観光の核心です。

^{*1} Booking.com 「Sustainable Travel Report 2023」

^{*2} 東京観光財団調査

グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC®）



持続可能な観光の実現のため、2007年、国連世界観光機関（UNWTO）や国連環境計画（UNEP）等の国連機関や国際NGOによりグローバルサステナブルツーリズム協議会（GSTC® : Global Sustainable Tourism Council）が設立され、GSTCにより持続可能な観光の実現に寄与するための国際観光基準及び指標が開発され管理されている。

持続可能な観光についての知識、理解、受け入れ、需要を増やすことを目標に、下記のプログラムを行っている。

- ・ 国際基準の設定・管理 ⇒ **GSTC基準**
- ・ トレーニングや教育の機会を通して認知度の向上 ⇒ **GSTCサステナブルツーリズム研修プログラム(STTP)**
- ・ 持続可能な地域（デスティネーション）の支援
- ・ 持続可能な観光に関わる地域や事業者のマーケットアクセス機会を推進

GSTC基準

GSTC基準は先進国から途上国まで広く適用され、**日本では当たり前とされる事項も多く含まれています。この基準に沿っていることを明示することは、日本の施設の良さを国際的に伝える上で重要です。**特に、インバウンド需要増加の中で、日本独自の対応を超え、持続可能な観光に関わる取組を可視化し、エビデンスをもって示すことが求められます。



GSTC基準は、持続可能な観光についての共通理解を提供するもの。持続可能な経営管理、社会経済的影響、文化的影響、環境への影響の主要4分野から構成されている。

- GSTC-D（地域向け）
- GSTC-I（観光産業向け 旅行者・宿泊施設）
- MICEとアトラクションの基準も開発中
(2024年2月現在)

国際基準に対応した持続可能な観光にかかる取組事例集

国際基準に対応した持続可能な観光にかかる取組事例集

日本における取組方針

GSTC基準は42項目にわたる広範なガイドラインであり、各項目は相互に関連し合っている。持続可能な観光への取組は、新たに始めるものだけでなく、既に無意識のうちに行っている活動が持続可能な観光に貢献していることも多い。そのため、既存の取組を見直し、サステナビリティの観点を取り入れることが重要である。他施設のノウハウを参考に、施設の特性に応じた柔軟な応用が推奨される。本書で紹介する事例はあくまで一例に過ぎないが、世界基準に対応する取組のイメージとして、是非参考にしていきたい。

| GSTC 観光産業向け基準 | 指標（宿泊施設） |
|--|---|
| セクション A: 効果的で持続可能な経営管理の明示 | |
| A1. 持続可能な経営管理 実際の規模や活動範囲に合わせ、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全問題、危機管理に配慮した、長期的かつ持続的な経営の管理制度を見直しつつ維持する。 | a. 持続可能な管理システムが明確に文書化されている。 b. そのシステムは、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全問題を取り入れている。 c. そのシステムには、リスクや危機管理についての配慮がある。 d. そのシステムが導入されている事が証明できる文書がある。 e. そのシステムには、持続可能性に関する実績の継続的改善をモニタリングするための手順が含まれている。 |
| A2. 法の順守 衛生管理、安全、労働、環境などを含むすべての適用可能な国際法、国内法および地域の条例を順守する。 | a. 最新の法的要件リストを備えている。 b. 証書、またはその他の文書の証明書については、すべての該当する法的要件に遵守しているものであること。 |
| A3. 報告と伝達 事業体は、持続可能性に関する方針、行動計画と実施内容などについて、顧客を含む関係者に伝え、支援を得るようにする。 | a. 持続可能性に関する実績について、定期的なレポートが提供されている。 b. 持続可能性に関する方針や行動計画は、内外のコミュニケーション資料の中で報告されている。 c. コミュニケーションにおいては、顧客や関係者による支援を促すメッセージを含める。 |
| A4. 従業員の参画 従業員は、持続可能な運営体制について策定段階から実践まで関わり、実施上の役割と責任について定期的に指導と研修を受けている。 | a. 持続可能な管理システムの中に従業員の関与を証明できるものがある。 b. 従業員の出席記録のあるコースや実地研修の記録がある。 c. 従業員の研修や指導資料は、アクセス可能な形式であること（必要に応じて少数言語の使用も含む）。 d. 従業員は、関連する訓練/技術に関する証明書や資格を保持している。 |
| A5. 顧客の体験 | a. 顧客からの意見を取り入れるシステムがあり、その意見を分析している。 b. 顧客からの否定的な意見や反響などを記録している。 c. 顧客からの意見に対してとられた是正措置の証拠がある。 |

GSTCの基準ごとに、具体的な取組事例を紹介

A1 持続可能な経営管理

A1 実際の規模や活動範囲に合わせ、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全問題、危機管理に配慮した、長期的かつ持続的な経営の管理制度を見直しつつ維持する。

CASE 取組の公表による方針の提示

明神館（長野県松本市）

当館では、施設HP上に「安全・衛生管理」「自然環境の保全・整備」「食育活動」等のSDGsに対する取組について、実施している取組を取りまとめて公表している。これにより、**サステナブルな取組を実施していることを対外的に周知でき、従業員にとっても職場の方向性が分かりやすく、働きがいを感じられるようになっている**。また、約30年前から無農薬野菜の使用やコージェネレーション（熱電併給）の導入などを行い、2009年5月に国際エコラベル「グリーンキー」認証を日本で初めて取得した。



POINT >>> 認証や取組に関する情報提示の重要性

GSTC基準に示されるあらゆる項目を総括した全体のサステナブルな方針を策定、それに基づき、環境に配慮した建築素材や、エネルギー導入、自家農家でのごみ堆肥化による循環型農業など、各項目における取組内容や認証を受けていることについて、HPで説明ができています。

- その他の取組事例**
- 持続可能な経営管理に関する主担当者を定めている。
 - PDCAサイクルを取組の骨子に据えて実践している。
 - 感染症拡大防止対策について、顧客、地域、従業員を守る取組を継続している。
 - KPI指標（エネルギーコストや電気等エネルギー消費量、廃棄物量等）を定期的に見直している。

明神館HP
<https://www.tobira-group.com/myojinkan/>

事例集の見方

GSTC-I項目

GSTC-I基準の項目名を記載しています

GSTC-I項目の内容

各項目の内容を記載しています

A1 持続可能な経営管理

A1 実際の規模や活動範囲に合わせ、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全問題、危機管理に配慮した、長期的かつ持続的な経営の管理制度を見直しつつ維持する。

CASE 取組の公表による方針の提示

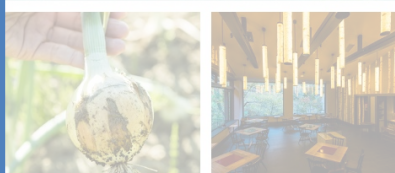
明神館（長野県松本市）

当館では、施設HP上に「安全・衛生管理」「自然環境の保全・整備」「食育活動」等のSDGsに対する取組について、実施している取組を取りまとめて公表している。これにより、**サステナブルな取組を実施していることを対外的に周知でき、従業員にとっても職場の方向性が分かりやすく、働きがいを感じられるようになっている。**また、約30年前から無農薬野菜の使用やコジェネレーション（熱電併給）の導入などを行い、2009年5月に国際エコラベル「グリーンキー」認証を日本で初めて取得した。

わたしたちは、大きな自然の循環のなかにいる。

明神館には、創業者の代からの畑があります。農業を営んで、田たなを土地を継承した有機栽培を行っています。料理にはそこで収穫した甘みのある高原野菜を中心に使っています。

料理の残りは肥料にしています。それをふたたび畑にまいて、次の食料を育てます。自然のめぐみを循環させることは、大地を健康に保つことであり、そこで育つものを食べる。人の体も健康にする。約90年、山の平の畑を営んで続けていくことです。



POINT >>> 認証や取組に関する情報提示の重要性

GSTC基準に示されるあらゆる項目を総括した全体のサステナブルな方針を策定。それに基づき、環境に配慮した建築素材や、エネルギー導入、自家農家での生ごみ堆肥化による循環型農業など、各項目における**取組内容や認証を受けていることについて、HPで説明が**できている。

その他の取組事例

- 持続可能な経営管理に関する主担当者を定めている。
- PDCAサイクルを取組の骨子に据えて実践している。
- 感染症拡大防止対策について、顧客、地域、従業員を守る取組を継続している。
- KPI指標（エネルギーコストや電気等エネルギー消費量、廃棄物量等）を定期的に見直している。

明神館HP
<https://www.tobira-group.com/myojiinkan/>

事例紹介

全国の宿泊施設で取り組まれている事例を紹介しています

注目ポイント

取組の効果や重要なポイントについて説明しています

その他の取組事例

本項目に関連する他の施設を含む取組事例を紹介しています

イメージ写真、図

参考URL

国際基準に対応した持続可能な観光にかかる取組事例集

目次

| ページ | GSTC-I項目 | 取組事例 | 取り組む宿泊施設 |
|-----|--|--------------------------------|------------------------------|
| 10 | A1 持続可能な経営管理 | 取組の公表による方針の提示 | 明神館（長野県松本市） |
| 11 | A2 法の遵守 | 法の遵守の表明によるクリーンなイメージ定着 | ホテル中村屋（長野県塩尻市） |
| 12 | A3 報告と伝達 | SDGsの取組内容と成果の公表で広がる輪 | ホテル日航つくば（茨城県つくば市） |
| 13 | A4 従業員の参画 | 社内の「カイゼンメモ」活動 | 湯元館（滋賀県大津市） |
| 14 | A5 顧客の体験 | 混雑状況の可視化システム | 長門湯本温泉 恩湯（山口県長門市） |
| 15 | A6 正確な広告宣伝 A9 情報および解説 | 地域観光の情報発信の拠点となるホテル | 札幌パークホテル（北海道札幌市） |
| 16 | A7.1 建築物およびインフラ整備 法の遵守 A7.2 建築物およびインフラ整備 影響および保全 | 自然林に溶け込む旅館 | ゆけむりの里、料亭旅館 つつじ亭（群馬県草津市） |
| 17 | A7.3 建築物およびインフラ整備 持続可能な施工および資材 | 地元産木材を活用した木造ホテルで地球温暖化対策に寄与した建築 | ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園（北海道札幌市） |
| 18 | A7.4 建築物およびインフラ整備 全ての人のためのアクセス | 施設内のバリアフリー化と情報提示 | 戸田家（三重県鳥羽市） |
| 19 | A8 土地・水の権利および所有権 B1 地域支援 | 宿泊代金の一部を地域に寄付 | ホテルキーフォレスト北杜（山梨県北杜市） |
| 20 | A10 地域への参画 | 町内会員としての地域活動への参画 | 旅館くらしき（岡山県倉敷市） |
| 21 | B2 地域雇用 | 地元学生のインターン受入 | 綿善旅館（京都府京都市） |
| 22 | B3 地元での購入 | 地元産のシャンプーを旅館へ導入 | 天空のお宿 雅館（岩手県一関市） |
| 23 | B4 地元事業者 | 地域における地域を学ぶ機会の創出 | 白樺リゾート 池の平ホテル&リゾート（長野県北佐久郡） |
| 24 | B5 搾取およびハラスメント | 従業員の給与UPによる持続的な旅館経営 | 都和旅館（京都府京都市） |
| 25 | B6 機会均等 | 女性へのキャリアアップサポート | ホテルプラザオーサカ（大阪府大阪市） |
| 26 | B7 ディーセント・ワーク | 決裁書でのSDGsに関する明記 | 帝国ホテル東京（東京都千代田区） |
| 27 | B8 地域サービス B9 地域住民の生活 | 地域支援のためのマルシェ開催 | ホテルエース盛岡（岩手県盛岡市） |
| 28 | C1 文化間の相互関係 | 職人と創る本物の文化継承 | べにや無何有（石川県加賀市） |
| 29 | C2 文化遺産の保護 | 伝統工芸品による宿の質向上 | お花坊（京都府京都市） |
| 30 | C3 地域文化や遺産の提示 C4 考古学的な工芸品 | 伝統文化の継承と適切な観光サービス化 | 元湯石屋（石川県金沢市） |
| 31 | D1.1 資源の保全 環境に配慮した購入 D1.2 資源の保全 効果的購入 | グリーン購入による環境に配慮した仕入業務 | ホテル佐勤（宮城県仙台市） |
| 32 | D1.3 資源の保全 省エネルギー | 省エネによるサービスの向上 | 旅館こうろ（京都府京都市） |
| 33 | D1.4 資源の保全 節水 D2.3 汚染の削減 廃水 | 環境にも経営にも良い節水活動 | 福寿荘（三重県志摩市） |
| 34 | D2.1 汚染の削減 温室効果ガスの排出 | 連泊室内清掃サービス | ラックホテル大津石山（滋賀県大津市） |
| 35 | D2.2 汚染の削減 交通・輸送手段 | 送迎車のバリアフリー・ハイブリット化 | 陶泉 御所坊（兵庫県神戸市） |
| 36 | D2.4 汚染の削減 廃棄物 | 自家農園でのコンポストによる食の循環 | ほほえみの宿 滝の湯（山形県天童市） |
| 37 | D2.5 汚染の削減 有害物質 D2.6 汚染の削減 汚染の最小化 | 川の保全のための生物分解性洗剤の導入 | 黒川温泉 ふもと旅館（熊本県阿蘇郡南小国町） |
| 38 | D3.1 生物多様性、生態系、景観の保全 生物多様性の保全 D3.2 生物多様性、生態系、景観の保全 外来種 | 代々受け継がれる庭づくり | 然林房（京都府京都市） |
| 39 | D3.3 生物多様性、生態系、景観の保全 自然地域への訪問 | 自然保全のためのレクチャー | 仁伏温泉 屈斜路湖荘（北海道弟子屈町） |
| 40 | D3.4 生物多様性、生態系、景観の保全 野生生物との接触 D3.5 生物多様性、生態系、景観の保全 動物福祉 D3.6 生物多様性、生態系、景観の保全 野生生物種の採集および交易 | 周辺環境に配慮したライトアップ | ランプの宿 高峰温泉（長野県小諸市） |

実際の規模や活動範囲に合わせ、環境、社会、文化、経済、品質管理、人権、衛生管理、安全問題、危機管理に配慮した、長期的かつ持続的な経営の管理制度を見直しつつ維持する。

CASE

取組の公表による方針の提示

明神館（長野県松本市）

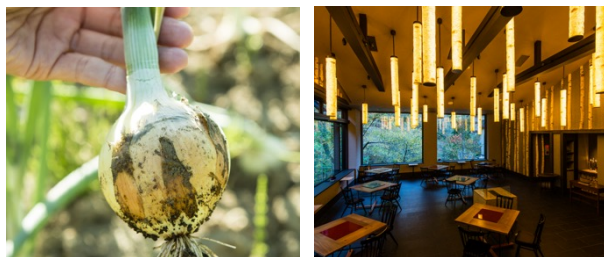
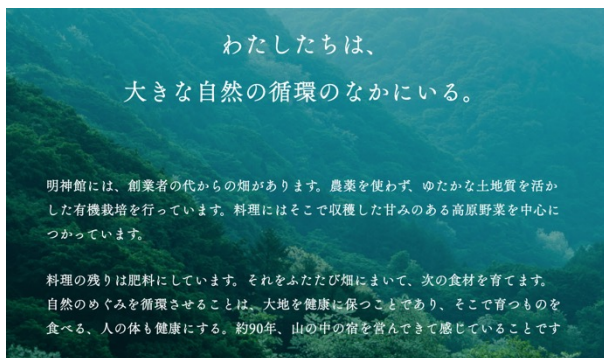
当館では、施設HP上に「安全・衛生管理」「自然環境の保全・整備」「食育活動」等のSDGsに対する取組について、実施している取組をとりまとめて公表している。これにより、**サステナブルな取組を実施していることを対外的に周知でき、従業員にとっても職場の方向性が分かりやすく、働きがいを感じられるようになっている**。また、約30年前から無農薬野菜の使用やコジェネレーション（熱電併給）の導入などを行い、2009年5月に国際エコラベル「グリーンキー」認証を日本で初めて取得した。

POINT >>> 認証や取組に関する情報提示の重要性

GSTC基準に示されるあらゆる項目を総括した全体のサステナブルな方針を策定し、それに基づいた各項目における取組内容や認証を受けていることについて、HPで説明ができています。旅行者や旅行会社からの、この施設で持続可能な観光に係る取組を管理しているか、という問いに答えられるように、自社の取組を記録し情報を開示することが求められている。

その他の取組事例

- 持続可能な経営管理に関する主担当者を定めている。
- PDCA*サイクルを取組の骨子に据えて実践している。
* Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4つのプロセスを繰り返し、業務効率を改善するフレームワーク
- 感染症拡大防止対策について、顧客、地域、従業員を守る取組を継続している。
- KPI指標（エネルギーコストや電気等エネルギー消費量、廃棄物量等）を定期的に見直している。



明神館HP

<https://www.tobira-group.com/myojinkan/>

CASE

法の遵守の表明によるクリーンなイメージ定着

ホテル中村屋（長野県塩尻市）

HP上において「法令等の遵守について」などとして、個人情報保護法等を遵守している旨を表明している。このことにより、取り組むべき事をしっかりと取り組んでいる施設として、クリーンなイメージにつながっている。



POINT >>> 法律名のリストを運営方針と共に公表

A1と一緒に取り組んでいる事を示すためにも、遵守している法律名をリストアップ（旅館業法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 等）し、クリーンで堅実な施設であることを対外的にアピールすることが重要。

その他の取組事例

- 国際的な宣言（世界観光倫理憲章への署名、グラスゴー宣言等）や各種ガイドラインなど任意に取り組む制度を含んでいる。
- 法点検リストを整備している。

事業体は、持続可能性に関する方針、行動計画と実施内容などについて、顧客を含む関係者に伝え、支援を得るようにする。

CASE

SDGsの取組内容と成果の公表で広がる輪

ホテル日航つくば（茨城県つくば市）

リネンの交換や補充の要否を確認するご案内、プラスチックストローなどの要否確認、プラスチック製品削減のための消耗品非設置のご案内など、**施設のHP上でSDGsに関する取組について、理解・協力を求める内容及びその成果を公表**している。このようなHPへの取組の公開は、堅苦しくなく、楽しみながら読んでもらえるように編集を心がけている。また、2年前から幅広いテーマを2~3ヶ月に一度のペースで**社員向けSDGs講演会**を行っており、業務の合間ではあるものの、毎回多くの社員が参加している。こうした取組についてはHPを見て講演会に参加してみたいという問い合わせもあり、**一部外部の方への無料公開も実施**している。



POINT >>> 取組と成果も公表すると信憑性のあるアピールに

A1（持続可能な経営管理）やA2（法の遵守）に明記している内容を対外的に見える化し、やっていること／やっぴいこうとしていることが分かるようにすることで、取組のアピールの場となる。更にその成果としてのモニタリング結果も公表すると尚良い。

その他の取組事例

- A1、A2（以降の項目も含め）の取組などを外部の者が誰でも容易に確認出来るように施設のHP上で「サステナビリティレポート」を公開している。
- ステークホルダーにもその内容を伝える機会を設けている。（ex.株主総会、商工会議所の定例会）

ホテル日航つくばHP

<https://www.nikko-tsukuba.com/>

CASE

混雑状況の可視化システム

長門湯本温泉 恩湯（山口県長門市）

温泉（大浴場）にはのんびり気持ちよく入りたいところ、混雑時を避けたいと考える利用客も多く、日常的に受付へ混雑状況に関する問合せが相次いでいたところ、館内及びHP上にて**温泉の混雑状況を可視化するシステムを導入**。その後、利用客から「事前に混雑状況を知ることができた。空いている時間を選んで行けるようになった」などと、**施設に対する満足度が向上**し、リピーターも増加した。また、副次的にはあるが、受付への問合せも少なくなり、**従業員の負担軽減（働き方改革）**にもつながった。

POINT >>> 顧客と従業員双方へのメリット

顧客の関心などを把握してマーケティングに繋げている。この事例では、A5の顧客満足度向上、アンケート実施、というだけでなく、B5（搾取及びハラスメント）、B6（機会均等）といった**従業員の働き方に対する効果**も出ていることから、一つの取組が複数の項目に貢献すること、それぞれの項目はバラバラのようにつながっていることがよく分かる。

その他の取組事例

- 宿泊客へのアンケートによる満足度調査を実施している。（アンケートをとるタイミングとして何らかの体験直後は、対象者をしらけさせてしまうので要注意。）
- 客室内レターのコメント等を総支配人へ報告し、顧客の評価を確認、分析している。





A6

組織、および持続可能性を主張するものを含むその組織の商品やサービスに関するあらゆる広告宣伝は、正確かつ透明性のあるものでなければならない。ビジネスとして実際に提供できること以上のものを約束しない。

A9

事業者は顧客に対し、周囲の自然環境、地域文化、文化遺産について情報提供および解説を行い、自然や生活文化、文化遺産を訪れる際の適切な行動についての説明も行う。

CASE

地域観光の情報発信の拠点となるホテル

札幌パークホテル（北海道札幌市）

宿泊客に地域の魅力を知ってもらう、楽しんでもらうために札幌観光協会や各種観光団体と連携して、**地域観光マップの提供やサイト運営**を行っている。取組の成果として、宿泊客が立ち止まってポスターをじっくりと見ていたり、リーフレット等を手にとって行くこともよくあり、域内各所からポスターやリーフレット等の設置の依頼を受けることも多く、**観光客に地域の情報を届けることのできる拠点としての機能を十分に果たしている**実感を持っている。

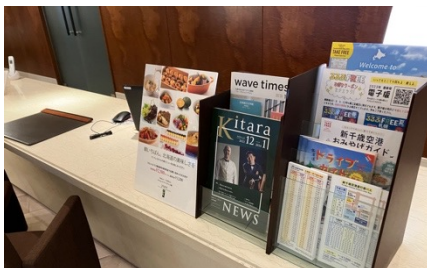
POINT >>> 正確な情報により宿泊客の満足度と地域の価値を上げる

正確な広告宣伝や情報提供を行うことにより、宿泊客の期待を裏切らない、満足度を下げない、地域の資産価値を下げるようなことをしないことにつながる。

公開情報は、可能な限りエビデンスを伴う示し方をすること。

その他の取組事例

- 公開している情報によって宿泊客に誤解を与えることが無いよう、公開情報の表現、写真などは必ず二重チェックをしている。
- 掲載画像は他所から引用したものではなく、実際に自分たちで撮影したものを使用している。
- 地域が大事にしている場所を物見遊山の対象として宿泊客に紹介するのではなく、地域が大事にしていること、その理由、ストーリーを客に伝えるようにしている。
- 観光庁訪日外国人旅行者向けマナー啓発動画を活用している。
https://www.mlit.go.jp/kankocho/page08_000113.html
- 宿泊客に地元をしっかりと案内ができるよう、スタッフに県が設ける「観光マイスター」の取得を推奨している。



札幌パークホテルHP

<https://park1964.com/>

A7.1 法の遵守 2 影響および保全



A7.1

持続可能な施工および資材 建築物およびインフラ整備の計画、立地、設計デザイン、建設、修復、運用、取り壊しなどについて、区画要件、保護地域、影響を受けやすい地域、遺産地域の法律や規則を順守する。

A7.2

持続可能な施工および資材 建築物およびインフラ整備の計画、立地、設計デザイン、建設、修復、運用、取り壊しなどについて、周囲の自然や歴史文化遺産について、許容量と保全に配慮する。

CASE

自然林に溶け込む旅館

ゆけむりの里、料亭旅館 つつじ亭（群馬県草津市）

当旅館は、住宅街の中で営業しているので、周辺の景観に溶け込むために年々植栽などを行い、今では自然林にかこまれた趣のある佇まいになっている。また、**国の助成金を活用し、建物の外観をベージュ色に統一、看板は木を基調としたフォルムで統一**することで、さらに**周辺環境との調和を図っている**。この建物工事の際にも対応する事業者の車の台数を制限したり、周辺住民の迷惑にならないよう留意した。

POINT >>> 周辺環境への調和による満足度向上と文化遺産の保護

このような取組の成果として、**宿泊客からの満足度も高まっている**。また、文化財としての側面もある旅館では特に、C2（文化遺産の保護）やC3（地域文化や遺産の提示）にも寄与している。

その他の取組事例

- 地域の景観条例を遵守している。
- 建物は周辺の景観を損ねるものではなく、景観に溶け込んだものにするため、建築、増改築、塗装の際には、地域住民の意見も取り入れながら実施している。



料亭旅館 つつじ亭HP

<https://tsutsujitei.co.jp/>

A7.3 持続可能な施工および資材



A7.3

持続可能な施工および資材 建築物およびインフラ整備の計画、立地、設計デザイン、建設、修復、運用、取り壊しなどについて、その地域に適した持続可能な建設方法および資材を使用する。

CASE

地元産木材を活用した木造ホテルで地球温暖化対策に寄与した建築

ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園（北海道札幌市）

本ホテルは**地元産木材**（トドマツ・カラマツ・タモ）を**活用**した国内初の高層ハイブリッド木造ホテル。構造躯体における木材使用量は約1,060 m³（外装材等も含めると約1,200m³）となり、そのうち8割強が北海道産木材。構造躯体に使用する木材量は国内最大規模となり、建物全体を**鉄筋コンクリート造とした場合と比べ約1,380tのCO2発生を抑制し、地球温暖化対策に寄与**している。本プロジェクトを通じて、**北海道における林業振興への寄与**を図るとともに、地域活性への貢献、サステナブルな社会の実現を目指す。



POINT >>> 「木」の効果で顧客満足度向上

成果として、旅行代理店やメディアへは新しい切り口、セールスフックといったプラス効果をもたらした。宿泊客からは「木は安らぐ」「木の香りがいい」と木造建築の良さをストレートに実感できたことを評価され、インバウンド客の増加にも寄与。また従業員は、環境に貢献している施設で働くことに誇りを持ち、それが理由のひとつとなって離職の抑止につながるるとともに、「意識高い系カッコイイ施設」であることが**若年層の採用に非常にプラス**となっている。



その他の取組事例

- 地元の伝統技法が生かされた造りをしている。
- 耐震性が十分である。
- グリーンビルディング関連の認証（LEED認証、CASBEE建築評価認証等）を取得している。

ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園HP

<https://www.royalparkhotels.co.jp/canvas/sapporoodoripark/>

持続可能な施工および資材 建築物およびインフラ整備の計画、立地、設計デザイン、建設、修復、運用、取り壊しなどについて、適切な範囲で、特別なニーズを持つ人が必要とするアクセスと情報を提供する。

CASE

施設内のバリアフリー化と情報提示

戸田家（三重県鳥羽市）

身体が不自由な方とその家族にも宿泊旅行を楽しんでもらいたいという思いから、**観光庁補助金も活用**しながら、施設内を徐々にバリアフリー化した。具体的には、スロープの設置やバリアフリー対応トイレ装備の客室、レストラン・部屋食の選択、刻み食、リフト浴対応貸切風呂など幅広い。これらにより、**身体が不自由な旅行者やその家族から好評**を受け、**リピーターも多い**。

POINT >>> ハードとソフトの面で取り組むバリアフリー化

海外では、「公平性」もBtoB、BtoC双方で重視する柱のひとつと捉えられており、ユニバーサルツーリズムに取り組む施設を積極的に利用したいと考える事業者、旅行者も少なくない。バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設向けの「**観光施設における心のバリアフリー認定**」もあり、コストのかかるハード面の取組だけでなく、比較的取り組みやすいソフト面のバリアフリー化も重要である。

その他の取組事例

- 従業員として身体障がい者を雇用し、日々活動していることをHP等を通じて発信することにより、障害をお持ちの宿泊客も安心して利用できるようにしている。
- 食事にハラル、ヴィーガンメニューを取り入れている（自施設で対応できなくても、近隣施設で対応可能な店舗情報を提供出来るようにしている）。
- 館内の案内表示は、文字だけでなくピクトグラムを加えたものになっている。





A8

事業者による土地・水の利用権、資産の取得に際しては、地域の自治体および先住民を含む地域住民の権利を守り、事前に情報を共有した上で地元住民の自由意思による同意を得、移住を強要しない。

B1

事業者は、インフラ整備と地域社会開発の構想を積極的に支援している。たとえば、教育、訓練、保健・衛生、気候変動に関する事業など。

CASE

宿泊代金の一部を地域に寄付

ホテルキーフォレスト北杜（山梨県北杜市）

地域あつての宿泊施設という考えから、**宿泊料金の一部を地域支援のために寄付する仕組み**を導入。特徴としては、宿泊客に対してチェックアウト時に、それまでの**旅行を通じて関心を抱いた項目**（環境保全、文化スポーツ振興、児童のアート教育等）から**一つに投票**してもらい、得票数が最も多かった項目に取り組む団体に寄付を行うという、**宿泊客参加型**の形を取っていること。他産業を参考にして導入した本取組は、良質なインバウンド集客及びサステナブルツーリズムマーケットに対し「良い布石」となった。



一掃性ではない
本物のサステナブル体験を

あなたの宿泊が寄付に

ホテルキーフォレスト北杜ではお客様と共に、地域を取り囲む自然環境、暮らし、そして社会の持続可能な発展の実現を目指しています。皆さまのご宿泊代金の一部は支援先への寄付に活用しており、どの活動も応援するか、お客様ご自身の投票によって決めるシステムを導入しています。

| | | |
|---|---|--|
| <p>森を育て、水を守る 北杜市環境保全協会（北杜市）</p> <p>世界に誇れる豊かな自然をもつ北杜市。日本一長い清流のネットワークを有し、「水本」ならではの自然資源の自給自給として、市民・行政が一体となって持続可能な水づくりに取り組んでいます。樹木の整備や水質の浄化、環境調査・教育等を含む様々な環境保全活動は、全て寄付が実現。あなたのご宿泊が、森を育て、水を守る、の一助となります。</p> | <p>文化を守り、文化を伝える 北杜市文化スポーツ振興基金（北杜市）</p> <p>豊かな芸術・芸術らしい文化がスポーツには、大きな役割があります。豊かな人間性が、新たな文化の創造に育ち、それが豊かな社会の形成につながる。その理念を大切にした活動は、様々な文化活動や地域間交流の機会にもなっています。あなたのご宿泊で、芸術文化スポーツの発展に育み、地域社会の活性化に貢献を支援します。</p> | <p>子どもの未来を、響き渡す 山梨県環境フロンティア（キース・ヘルス）財団</p> <p>子どもたちが住んでいない施設だが、事業を継続する。そしてアートが活動の中心となり表現できる場として、世界中から多くの応募が寄せられる国際コンクールは、子どものキースヘルスが実現することで文化活動を促しています。世界で唯一キースヘルス財団の公認を受け、子どもたちが活躍する場として、子どもが活躍の場となる機会を、一緒に作りませんか。</p> |
|---|---|--|

POINT >>> 地域支援への参加意識の醸成

ただ寄付をするのでなく、宿泊客自身が関心を持つ地域支援に対して「**投票**」というアクションを取ってもらうことで、**地域支援に参加している意識**を生んでいる。地域からも「魅力的な活動をしている」と評価を得られている。

その他の取組事例

- 客室やレストランスペース等、施設の一部を市民に開放している。
- 地域でのアクティビティを宿泊プランとセットで販売している。
- 近隣住宅等への日当たり、風通り等地域住民の生活に配慮している。
- 自治体と災害時における施設利用の協力に関する協定を締結し、有事の際には施設への避難・滞在を受け入れるようにしている。

CASE

町内会員としての地域活動への参画

旅館くらしき（岡山県倉敷市）

当旅館は、**町内会員**であると共に、【倉敷美観地区をまもり育てる会・会員】【くらしき美観地区事業者振興会・会員】【倉敷商工会議所・議員】として、**地域の取組に参画**している。例えば、地元の阿智神社の春秋例大祭では、地元有志による千歳楽（おみこし）の休憩場所のひとつとしてお世話（休憩時におしぼりや飲物を出し、みこし衆を労うもの）をしている。そのことは、**地域の方にとっては当たり前**の光景と言うほどに浸透している。また、消防団へは職員1名が団員として所属するなど、地域活動へ積極的に参画している。

POINT >>> 「地域会員」として継続的な良好関係を構築

地域の組合、会合等に加盟し、また集会や祭り、町内会のごみ拾い、打ち水イベント等、地域のイベントへ参画することで地域へのリスペクトが示され、結果的に良好な関係を築くことに繋がっている。地域が潤えば宿も潤うという考え方のもと、過度にコミュニティ側への負担を強要せず、自然に関係構築ができています。

その他の取組事例

- 地域の飲食店で夕食を宿泊プランのオプションに盛り込むことで、宿泊客の食事体験を充実させるとともに、地域へ周遊する仕組みを取り入れている。
- 地域に対して、宿泊施設で実施する各種イベントへの参画を呼びかけている。
- 閑散期（スキー場における夏期、海水浴場における冬期等）における地域の魅力創造、集客力向上について、DMO等に働きかけを行い、一緒に新たなコンテンツを作り上げ、効果の検証も行っている。



CASE

地元学生のインターン受入

綿善旅館（京都府京都市）

地域の就職イベントへ継続的に参加していたこときっかけに、地元の大学や高校において宿泊業の現状と魅力について伝える講演活動を行うようになった。そこから**学生に対して就業に対する機会を創出**したり、年間10~20人程度の**インターン生を積極的に受け入れ**、キャリアについて学びの機会を提供したりしている。インターン生から、スタッフの良いところや疑問に感じたことなどをフィードバックしてもらうことで、**既存のスタッフのモチベーション向上**や業務について初心に戻り改めて考えるきっかけにも繋がっている。



POINT >>> 就労意欲の向上

成果としては、採用応募者数が増加した上、その中でも宿の想いに共感する応募者が増加した。インターン生受入の取組は、採用候補者の**地域愛、就労意欲を高め、離職率の低下や人材の質の向上**に寄与する。

その他の取組事例

- 地域在住の離職者、シルバー人材のパートタイムでの受入を行っている。
- 地元出身の従業員や管理職の割合を管理している。
- 地元の高校生を対象に職業体験を実施している。



B3

事業者がサービスの利用や物資の購入をする際は、品質を満たし提供が可能なかぎり、地域内やフェア・トレードのサプライヤーを優先する。

CASE

地元産のシャンプーを旅館へ導入

天空のお宿 雅館（岩手県一関市）

宿泊客に快適性と安心感を与え満足度を高めるための施策として、**品質が良く環境に配慮した地元岩手県産のシャンプー（ura）**を浴場に導入。このシャンプーは、岩手県で盛んに取れるワカメの廃棄部分からエキスを抽出して作った**アップサイクル製品**である。他にも、女性用コスメ（白樺樹液と肌）や調味料（しいたけオイル）、南部鉄器など、岩手産や一関産にこだわったものを採用。このように、館内で取り入れる製品は**可能な限り岩手メイドにこだわることで、宿泊を通じて地域の魅力を発信**している。

POINT >>> 高品質と地産地消で宿泊者の満足度向上

「岩手に来たことが感じられて良い」などと、地域性を感じられることに対して宿泊客から高い満足度を得ている。「これは岩手のどこのものですか？」などの質問を受けることもあり、こうしたコミュニケーションから岩手の魅力を伝えられるきっかけにもなっている。同時に、「使い心地がとにかくい」とその品質も高く評価されているため、「地産」にこだわることだけが重要であるわけではないことが分かる。

その他の取組事例

- 提供される料理の原材料は、地元で採れる米や野菜等であり、その旨が客にも伝わるようメニュー表やHP上で案内している。
- 館内、室内の調度品は、地域のメーカーから購入していたり、地元の伝統工芸品を取り入れたりしている。これらは室内のタブレットから購入可能にもしている。
- アメニティや事務室で活用するオフィス機器は、地元の事業者から仕入れている。



天空のお宿 雅館HP

<https://www.miyabikan.com/>



B4

事業者は、地元の中小規模の事業者がその土地の自然、歴史や文化に根ざした持続可能な商品やサービスを開発し、提供できるように支援する。

CASE

地域における地域を学ぶ機会の創出

白樺リゾート 池の平ホテル&リゾート（長野県北佐久郡）

当施設は経済性の確保の観点からの観光事業の推進と並行して、自然との共生や居住者・移住者の受入、公共交通の誘致、教育環境の整備といった、地域における持続可能な社会インフラの整備を行ってきた沿革がある。そうして従前より地域コミュニティを大切に運営してきたことから、近隣の施設や地域住民、学生等に対して、地域社会における取組を伝える機会を設けている。それは、**老人会や地区会、学校等からリクエストがあった場合に、地域の歴史的な背景とその価値を伝える**というもので、年間10回程度開催している。

POINT >>> 地域内での相互サポート体制強化

成果としては、地域づくりをテーマとする団体から当該施設が選ばれる、学生への機会を通じて新卒採用に繋がる、協力企業やサポート頂く市民が増えている、などといったことが挙げられる。地域観光の拠点たる宿泊施設として、自身が目指していることの共有化を通じて、地域間で良好な関係を築く取組。地域が魅力的なら宿泊客も増える、という取り組みでもある。

その他の取組事例

- 宿泊客にトラブル（病気、ケガ、貴重品の紛失等）が発生した場合、速やかに連携が取れるよう地域事業者・施設をリストアップし、地域内の会合等を通じて関係を構築している。
- 近隣の飲食店、体験施設等で取り組んでいるサステナブルな取組（地元産の野菜を食材として活用等）を把握し、宿泊客からの問い合わせがあればいつでも紹介可能にしている。
- 生産者と提携し自社専用農園を設置している。



白樺リゾートHP

<https://www.shirakabaresort.jp/ikenotaira-hotel/>

商業的、性的、その他あらゆる形態の搾取またはハラスメントを防ぐ方針がある。とくに児童、青少年、女性、少数派、その他の社会的弱者に対しては留意する。

CASE

従業員の給与UPによる持続的な旅館経営

都和旅館（京都府京都市）

コロナ禍、経営基盤を強固にするためあえて従業員の給与をUP。旅館経営のためには各業務を担当する人材は不可欠であるものの、自分の所得に反映されない業務を継続できる人は少ない。そのため苦しいときだからこそ給与カットではなく、**従業員の給与を上げることが旅館経営を持続可能にさせる鍵**であると思いついた。これを実現するため、シーズンリティを細かく設定するなどの工夫を凝らして収益の確保に取り組みつつ給与UP。結果、**従業員からの会社に対する信頼を獲得**し、従業員がこれまで以上に細かい部分に気をつけて業務に従事するようになることでサービスの質が向上。**口コミの高評価にも繋がり、宿泊料金のUPによる収益性向上へと好循環を生むこととなった。**

POINT >>> 従業員を大切に思う気持ちを表面化

増収分を経営者層の収入増にだけ回し、パートの時給に反映しないなどといったことをしていると、離職率が高まってしまう。しっかりと反映・従業員に還元できていれば、**就労の満足度向上**や**離職率の低下**にもつながる。また、ハラスメント対策、ジェンダー平等等への取組を明示することで、**求職者に対して安心して働ける職場であることのアピール**にもつながる。（施設や地域内では当然の行為でも、地域の常識が外部からはハラスメントに見られないよう要注意）

その他の取組事例

- 幹部がハラスメント講習を受けている。
- 当たり前のことであっても、児童労働をさせていないということなど遵守事項を明示している。
- 男女で従業員の更衣室、トイレ、休憩所を分けている。
- 外国人従業員の採用に当たっては、日本人従業員と同じ給与体系、同じ人事配置としている。
- 就業規則に、労働関係諸法に準拠して運用することを明記している。
- 自治体、警察署などからの指導や、協力要請、注意喚起等に対して、連携協力している。



CASE

女性へのキャリアアップサポート

ホテルプラザオーサカ（大阪府大阪市）

当ホテルでは、性別・年齢・国籍を問わない評価制度を遵守したいと考えている。その一環として、女性役員を増やせるように、候補となりうるスタッフのキャリアアップのサポートに取り組む。具体的には、希望者を対象とした、**育休取得後の短時間勤務の実施**や、入社1年以上の職員を対象とした**主任立候補制度**（上長へのプレゼンを経て、認められた場合に主任にキャリアアップする制度）、**リフレッシュ休暇の奨励**（連続5日間）、**資格取得の援助・奨励**などを実施している。

POINT >>> サポートによる従業員からのプラスな意見

キャリアアップのサポート開始後、利用者も定着し、「人として向き合ってくれる会社」「従業員の事を第一に考えてくれる」「柔軟性がある良い」など、プラスの意見が従業員より上がっている。離職率の低下、求職者にとって魅力的な就職先として認識されるなど、従業員の就労にかかる満足度向上に寄与する取組である。

2022年の世界SDGsランキングで、日本は19位と横ばいであった中、達成状況が悪いと指摘された項目は、「化石燃料への依存度の高い環境」に加え、男女の賃金格差や職階の格差などの「ジェンダー平等」であった。従業員のためには勿論のこと、ジェンダー平等に高い意識を持つ国からのインバウンド客をとりこぼさないためにも重要な項目と言える。

その他の取組事例

- 昇任プロセスを明確化している。
- 大学等で開講されているリカレント教育の受講機会を従業員に対して平等に与えている。
- スタッフを自治体主催の「働く女性の為のキャリア研修」に参加させている。



労働の権利は尊重され、安全かつ安定した雇用環境が提供され、被雇用者に最低でも生活賃金分を支払う。被雇用者には、定期的な研修、向上のための経験と機会が与えられている。

CASE

決裁書でのSDGsに関する明記

帝国ホテル東京（東京都千代田区）

持続可能な観光にかかる担当ではない職員も含め、全社員にサステナビリティへの当事者意識を醸成させるために、社内で使用する決裁書に記載する提案内容がSDGsの17のゴールの内どの番号に寄与するのか、どのような効果・影響を生じさせるのか、を簡記する欄を設けた。その結果、従業員から「社会のためになるホテルに勤めていることが誇らしい」などといった好意的な意見が寄せられ、コロナ禍であっても離職率が業界平均を大きく下回った。

決裁書

〜
〜
〜

【SDGs目標】
17のゴールのうち該当番号を表示（複数表示可）
【取組内容】
取組事項と効果を1～2行で記載

POINT >>> サステナブルな取組が従業員の働きがいに

宿泊業における離職の理由として、給与や労働時間などの待遇面が良くないことに加え「働きがいを感じられない」ということが上位にある。サステナブルな取組を施設全体で促進することを通じて、働きがいを感じられる職場とし、離職率の低下につなげていきたい。

また、サステナビリティを浸透させるために従業員の負担を過度員増やすことは本末転倒であるため、可能な限り簡素なフローで取り組めるようにすることが重要である。

その他の取組事例

- 都道府県別リビングウェッジ（最低生活賃金）と地域別最低賃金の比較を行っており、給与はそれを上回っている。
- 毎年、従業員の間人ドック受診を支援している。



B8

事業者の活動は、近隣のコミュニティが必要とする食糧、水、エネルギー、保健・衛生環境などの基本的なサービスを脅かさない。

B9

事業者の活動に際し、土地、水資源、通行権、運輸、住居などの地域住民が生計に必要な要素に支障をきたさない。

CASE

地域支援のためのマルシェ開催

ホテルエース盛岡（岩手県盛岡市）

当ホテルでは、ハンドメイド作家による作品や食品の販売、ワークショップ体験などを行うマルシェを開催している。地域には起業を目指したい作家や、自分の好きなことを仕事にしたいと考える作家が多い一方で、チャレンジできる場所が少ないため、まちを元気にしたい、という思いからホテルの屋外広場と1階のラウンジ部分を会場として貸し出して開催している。**マルシェは地域住民がお客さんとして楽しめる機会の創出になると同時に、宿泊客としても珍しい体験ができる機会として親しまれている。**

POINT >>> 地域社会への貢献活動を公表することが重要

宿泊施設における地域経済の活性化や環境負荷の軽減等の取組が地域住民に知られていないことが多い。「食材、備品等の仕入は地域産のものを活用しています。」などといった情報を開示することは、地域で良好な関係を構築する上でも、地域内での立場を確立する上でも重要な取組である。

その他の取組事例

- ホテル／旅館として、地域に貢献している取組を地域住民向けにとりまとめ、公表している。（サステナビリティレポート）
- 宿泊客の行動により、通勤客が通勤バスに乗れない状況が続かないようにチェックアウトの時間を配慮している。
- 宿泊客の振る舞いで、地元の人が聖地に参拝できないなどといったことがないように配慮している。



ホテルエース盛岡HP

<https://www.hotel-ace.co.jp/>



C1

事業者は、先住民コミュニティや文化的歴史的に外部からの影響を受けやすい場所への訪問に際し、国内外の優良事例を参考にしながら、地元で合意された手引きに従った運営と振興を行い、訪問による悪影響を最小限に抑え、地域への恩恵と来訪者の満足度を最大限に引き出す。

CASE

職人と創る本物の文化継承

べにや無何有（石川県加賀市）

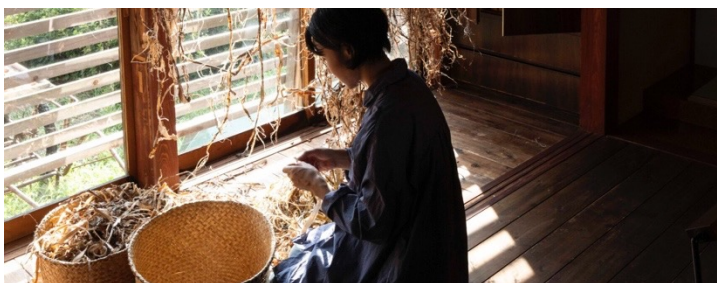
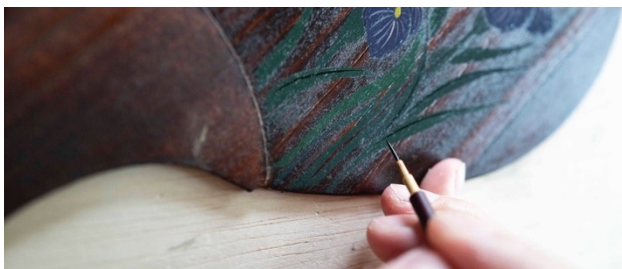
担い手が不足しており消滅の危機に瀕している独自の文化を次世代に継承していくため、旅館から宿泊客に「茶杓づくり体験」「紙漉き体験」「漆芸体験」等の文化体験の機会を提供している。一方で、職人の技は緻密であり自然との結びつきなど、外国人をはじめとする一見さんにはすぐに理解していただくことが難しい。そこで、地域文化の本物の価値を宿泊客にも理解してもらうため、宿泊客への見学や説明の内容は職人側と相談を繰り返して作り上げている。インバウンド向けには英語を話せない職人に代わって英語のシナリオを作成し提供。

POINT >>> 職人との連携による文化継承と観光への好影響

成果としては、ゲストが文化を正しく理解してくれることから、職人の作品が購入されることも多くなっている。こうして、宿泊施設と地域文化が連携し、観光を持続可能なものとしていくことができている。また、スタッフにとっても地域を深く学ぶ機会にもなっている。

その他の取組事例

- 地域が求める観光客の行動について、地域の会合等を通じて理解している。
- 地域住民が大切にしている風習について、宿泊客に対して館内掲示や体験チケットの販売時にレクチャーしている。
- ガイドブックに載っていない、地域住民だからこそ知るオススメスポットを案内できるよう、日頃から担当者自らが地域を周遊して気付きを得るようにしている。



べにや無何有HP

<https://mukayu.com/>

事業者は、歴史的、考古学的、文化的、精神的に重要な地域の財産、遺跡、伝統の保護、保存およびさらなる活用に尽力する。地域住民に対しては、それらの利用権を侵害しない。

CASE

伝統工芸品による宿の質向上

お花坊（京都府京都市）

伝統工芸を館内で感じられる様に工夫し、産業の持続に貢献している。具体的には、京扇子や京うちわを部屋の壁・ロビーなどに装飾、京組子細工や京唐紙を一部お部屋に使用、コーヒーを清水焼のカップで提供、など、他施設との差別化を図る事と客室販売価格向上のために取組を開始した。取組のきっかけは、駅前に安価で宿泊できるホテルが増えたことにより価格勝負するのではなく、質を上げることが生き残りの道だと考えたことである。ハード面の向上は限界があるため食事やサービスの他、本物の伝統工芸を入れるなど「昔ながら」「ほんもの」をキーワードに取り入れ、京都らしさを館内で感じていただくことで、旅館としての質を高めている。

POINT >>> 伝統工芸品の販路拡大にも貢献

防火の観点で取り入れたい工芸品をそのまま導入できないことがあったため、形を変えて導入した。また、伝統工芸は高価であるので、補助金を活用して購入。宿泊客から「美しい」との評価も得ており、その中で、京扇子などはお土産にほしい、と販売店まで案内することもある。施設への宿泊客が増えれば増えるほど、地域文化の保全にも寄与する取組。

その他の取組事例

- 地域の文化財保護に関する実行委員会に加盟し、地域での意識を共有するとともに、保全活動にも取り組んでいる。
- 文化財保護の基金に年間寄付をしている。
- 地元の観光協会や商工会議所等を通じて寄付を行っている。



お花坊HP

<https://www.ohanabo.com/>



C3

事業者は、地域コミュニティの知的財産権を尊重しつつ、地域独自の伝統的かつ現代的な文化の本質に価値を見出し、それをデザイン、装飾、食、店舗などに取り入れる。

C4

国内法および国際法上許可された場合を除き、歴史的、考古学的な遺物の販売、交易や展示を行わない。

CASE

伝統文化の継承と適切な観光サービス化

元湯石屋（石川県金沢市）

当館では、地元産業と連携を図りながら地域の文化を守ることに力を入れている。**伝統文化を継承する一環**として、館内には能舞台や**数多くの美術品を展示**している。また、ただ展示をしているだけでなく、スタッフによる能舞台案内サービスもあり、**宿泊客は館内を散策しながら歴史を学ぶことができる**。さらに、**地域の職人が制作する品の物販**も行っている。

POINT >>> 地域の文化保全と宿泊者の満足度向上の両立

これらの取組によって、地域の文化資源の保全と地域文化の周知に一役買うことで、地域内からは「宿がこういった取組をしてくれてありがたいし誇りに思う」、宿泊客からも「他にはないものを宿の中で見られて楽しい」などといった好意的な意見が寄せられている。

その他の取組事例

- 宿泊施設の内装に地域文化の雰囲気を取り入れている。
- 「伝統工芸品産業の振興に関する法律」に適合する製品の購買を宿泊客に提案している（売店で取り扱っている、客室に設えている）。
- 宿泊客に対して、地域で開催される祭りの紹介、参加の斡旋を行っている。
- 管内で地元作家の作品を展示している。
- 地域のお祭りをテーマにした「写真コンテスト作品展」を開催している。
- 館内売店では、伝統工芸の模造品を販売していない。
- 宿泊客に博物館での撮影禁止と先住民族への特別な配慮について啓蒙している。
- 管内で工芸品を展示する場合には、ガラスケースで覆うなど適切に保護をしている。



元湯石屋HP

<https://www.motoyu-ishiya.jp/>



D1.1

購買方針は、環境面で持続可能なサプライヤーおよび、資材、食品、飲料、建材、消耗品などの製品を優先する。

D1.2

事業体は、廃棄物を最小限にするために、食品を含めた使い捨て商品や消耗品の購入と使用を慎重に管理する。

CASE

グリーン購入による環境に配慮した仕入業務

ホテル佐勘（宮城県仙台市）

備品や食品等の購入にあっては、**環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入する「グリーン購入」**を行っている。具体的には、グリーン購入ネットワークによる情報から、環境にやさしい商品と販売事業者を選択し、仕入れを行っている。その結果、**各種仕入れの面からも環境保全に貢献できており、対外的にその姿勢をPR**できている。また、従業員からも「今の時代にあった取組ができる職場で誇らしい」という声も出ている。

環境保全米 秋保米

山から流れる澄んだ水で栽培された「秋保米」



○社内独自の取り組み

- GPN（グリーン購入ネットワーク）への加入
- GPN(グリーン購入ネットワーク)のエコチャレンジホテルとして、GPNの定めるガイドラインの過半数の達成を実現しております。
- 取引先様に専用コンテナでの納品を依頼
- 納品ケースの回収（発砲スチロール）
- 客室への分別ゴミ箱の設置



GPN（グリーン購入ネットワーク）の基準達成の為、分別可能なゴミ箱を客室内に設置しお客様にご協力を頂いています。

POINT >>> 環境配慮の取組公表により選ばれるホテルに

グリーン購入の公表のように宿泊に伴う負の影響の最小化を宿泊客に対して見える化することで、宿泊先を検討している者に対して、**選ばれるための選択肢を与えることにつながる**取組である。

その他の取組事例

- 森林の保護に資するFSC認証取得の文具を選択するようにしている。
- 独自にサステナブルな調達方針を策定し、それに基づいて購入している。
- 環境省が示しているレッドリストを確認し、問題のない食材を仕入れている。
- 館内で提供するコーヒーの豆は、国際フェアトレード認証を取得したものを仕入れている。
- アメニティ（歯ブラシ・カミソリ・クシ・ヘアブラシ・シャワーキャップ）は、竹製、再生プラスチック、バイオ添加剤、生分解促進添加剤を成分とした製品を使用している。

ホテル佐勘HP

<https://www.hotel-sakan.com/>



D1.3

エネルギー消費量は種類別に測定され、全体的なエネルギー消費を最小限に抑えるための措置がとられている。事業者は、再生可能エネルギーの使用を増やす努力をしている。

CASE

省エネによるサービスの向上

旅館こうろ（京都府京都市）

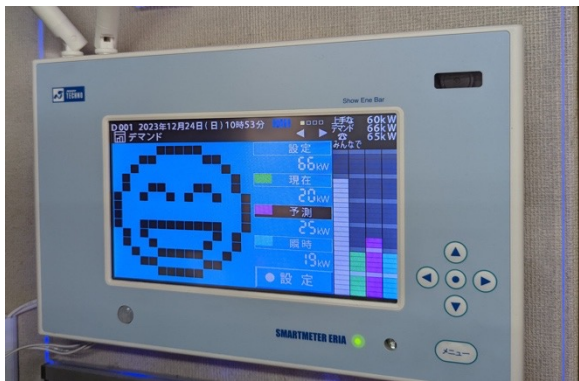
館内の照明の電灯と電球の数が大変多かったため、消費電力が多いのはもちろん、白熱球は寿命が短く交換頻度が高かった。そこで省電力化と電球交換により生じる手間の削減のため全館一斉にLED化。初期費用は高かったが、結果消費電力が下がったことはもちろん、**電球交換の手間が激減**したことは予想以上の成果であった。旅館の雰囲気には合う和風の物にすることで見た目の印象も改善。また**省エネルギー化促進の補助金を活用**して、冷暖房の効率の高いエアコン設備への取り替えや、全体の省エネルギー化をさらに進めるため、客室の窓ガラスを複層ガラスに交換などを実施。複層化の副次的な効果として、**外部からの騒音が客室内で軽減され、宿泊客の満足度向上**にもつながった。

POINT >>> システムが節電の習慣化にも繋がる

組合などの勉強会を通して、省エネにはデマンド（電力消費の平均値）を抑えることが重要だと知り、デマンド管理も導入している。その結果、電力の利用状況が見える化されたことで、**従業員にも自然と節電の習慣が身についた点**も大きなメリットとなった。

その他の取組事例

- 館内にセンサーを導入し、廊下やトイレなどで人がいない場合は自動消灯するようにしている。
- 客室に断熱材を取り入れている。
- 従業員スペースや社内イントラネット上に省エネに関する告知を掲載している。
- 日報に毎日のエネルギー消費（水、光熱費、ガス）を記録し、管理している。



旅館こうろHP

<https://www.kohro.com/>



D1.4

水のリスク評価がなされ、消費水量は種類別に測定されている。全体的な消費水量を最小限に抑えるための措置がとられている。供給水源は持続的で環境流量(自然流量)に悪影響を与えない。水消費による影響が高い地域においては、状況別の対応と責任を明確にし、実行している。

D2.3

ちゅうすい
中水を含む廃水が適正に扱われ、地域住民や環境に悪影響をおよぼさないよう再利用するか、安全に放流する。

CASE

環境にも経営にも良い節水活動

福寿荘（三重県志摩市）

客室の給水ポットを廃止して、**必要な分だけ給水スポットからマイボトルに入れて利用**できるようにした。また、**観光庁の補助金を活用**して客室に節水シャワーを、トイレに節水システムを導入。さらに、節水ポスターを各所へ貼り出し、節水に取り組んでいる。その結果、**環境に配慮した取組を表明**しつつ、水道料金が抑えられ、**経営的にも良い取組**となっている。



*給水スポット

POINT >>> 意識が希薄な節水活動の必要性

日本は、島国で雨も多いため節水意識が希薄だが、食料の多くを輸入に依存していることから、バーチャルウォーター*の領域で多くの水を使用（野菜も肉も海外の水で育てたものが多い。例、牛肉200gあたりの肉を採るための牛を育てるために水4,120gが必要と言われている。）しており、海外の水に依存しているとも言える。

*バーチャルウォーターの計算は、環境省サイトで自動計算できる。
https://www.env.go.jp/water/virtual_water/kyouzai.html

その他の取組事例

- 輸入食材ではなく、地域食材を使うようにしている。
- 館内共有スペースに地域の名水（湧水）を汲み取ったサーバーを設置している。
- 厨房排水は循環器で濾過し、トイレの水洗・公開空地の植栽散水用として再利用している。
- 雨水を貯めて防火用、草花への散水用など有効活用している。

福寿荘HP

<https://www.fukujiyuso.co.jp/>

D2.1 温室効果ガスの排出



D2.1

事業体の管理下にあるすべての活動において、影響の大きい温室効果ガスの排出量を把握し、可能な限り測定し、排出しない、または最小限に抑える手立てが実施されている。最終的には、すべての排出量を相殺するようにする。

CASE

連泊室内清掃サービス

ラックホテル大津石山（滋賀県大津市）

当ホテルでは、宿泊客からのニーズに応じて連泊時の室内清掃サービスを案内している。タオル類の交換等清掃不要を選択した宿泊客に対しては特典としてフロントでドリンクのプレゼントを行っている。このことにより、宿泊客も自らの意思でエコな取組に参加したという実感と、実際にお得なプレゼントも得られることから好評を博している。

POINT >>> 従業員の働き方改革にもつながる取組

このリネン交換不要を促進する取組は、ホテル側にとっても、清掃等に伴う人件費等を削減できる上に、従業員の負担も軽減でき、働き方改革にもつながるため、プラスの点が多い取組となっている。

地球温暖化がこのまま進行すれば、2049年には国産の鮭、イクラが、2073年にはウニが食べられなくなると言われている。これは、地域の食文化を提供する宿泊施設にとっては、大きな魅力・観光資源=売れ筋商品を失うことにつながる。こういった事態を防ぐためにも、今できることを少しでも行っておくことが重要。

その他の取組事例

- 宿泊料金のうち数%をオフセットに当てている。
- グラスゴー宣言*への署名を行っている。
- 補助金を活用し、客室のエアコンを省エネ機材に入れ替えている。

* 観光部門での二酸化炭素（CO₂）排出量を半減させ、2050年までに「ネット・ゼロエミッション」を達成するための強力な行動をコミットすることを目的にしたもの。

特典♪
選べるドリンク
いずれか1本プレゼント！




※上記は連泊のお客様のみの特典となります。
ご希望の際は、**朝10時まで**にマグネットをドアの外側に貼ってください

本日の入室は不要です
タオル類、歯ブラシ交換、
ゴミ回収・灰皿交換も行いません

Please do not disturb
No clean up today
朝 10 時までにはドア外側に貼ってください

※但し、衛生上 4 泊目毎に必ず
フル清掃を行います

Please put this magnet of your door by 10:00a.m.
Even if you do not put this magnet,
due to hygienic purpose, each guest room will be
required for "full" make up after 3rd night of stay.

事業者は、交通・輸送手段の使用をひかえ、よりクリーンで効率のよい手段をとるよう、利用者、従業員、サプライヤー、自らの事業に積極的に推奨する。

CASE

送迎車のバリアフリー・ハイブリット化

陶泉 御所坊（兵庫県神戸市）

サステナビリティに資する新たな取組として、泊食分離の推奨や、布団ではなくベッドの導入、またアメニティをリサイクル可能なものに切り替えた。その一環で、**送迎車は天ぷら油の廃油を使用して**走れる車両を導入。現在は、**送迎車はすべてバリアフリー対応**、または**電気自動車**を導入している。また、電気自動車、ハイブリッド車用にEV充電スタンドを設置している。

POINT >>> サステナブル志向のお客様への効果的なアプローチ

このように環境に配慮した交通・輸送手段を取り入れることで、SDGs志向のある宿泊客へのアプローチができ、宿泊客からも高い満足度を得られている。

また、食材の仕入先を地元こだわること、地域経済の活性化のみならず、輸送にかかる温室効果ガスの削減にもつながる。

その他の取組事例

- 宿泊客からの依頼によりタクシーやハイヤーを手配する場合、電気自動車やハイブリッド車といったエコカーで対応するものを選択肢として提供できるよう日頃からリストアップしている。
- 宿泊客の送迎、従業員の出勤時におけるアイドリングストップを励行している。
- 自転車通勤者への手当を拡充している。
- 従業員向けの自転車置き場を設置している。



陶泉 御所坊HP

<https://goshoboh.com/>

食品廃棄物を含む廃棄物の量を測定し、削減する仕組みを設ける。削減できない廃棄物については、再利用またはリサイクルする仕組みを確立する。最終廃棄処理は、地域住民や環境に悪影響を与えないよう行う。

CASE

自家農園でのコンポストによる食の循環

ほほえみの宿 滝の湯（山形県天童市）

当館では、食事として提供する野菜について、無農薬有機栽培のものにこだわって自家農園での農業にも力を入れている。また、自分たちが排出しているごみ等が原因で観光地の環境を悪化させてはいけなく、との思いから環境に配慮した取組も開始した。取組の一環として、**宿泊客の食べ残しと売り場で発生する生ゴミは、全てコンポスト処理（堆肥化）***をし、**自家農園で肥料**として活用している。そして、そこからの食材を活用といった食の循環に取り組んでいる。*施設内に処理機を導入し、その中に食品廃棄物を投入して発酵させている。

POINT >>> 食品廃棄コストの削減にもつながる

成果として、ごみの排出削減による環境保全だけでなく、**食品廃棄コストの削減**にもつながっている。この取組は、自社農園を持っていなくても、地域の提携している農園に堆肥化したものを提供することで可能であり、各所でこういった取組は広がりを見せている。

食品残渣のリサイクル



その他の取組事例

- 毎月事務室から出るゴミ袋の数を計測し、経年比較、削減方針を検討している。
- 使い捨てアメニティの廃止、他アメニティの有料化、歯ブラシを竹製に変更している。
- 包装ソープ類をポンプボトル式での詰め替え運用に変更している。
- 客室に分別ゴミ箱&エコフレンドリーガイドブックを設置している。
- 廃棄される食材を従業員のまかないに活用している。
- 宴会における3010運動の呼びかけを行なっている。

D2.5 有害物質 6 汚染の最小化



D2.5

農薬、塗料、プール殺菌剤、洗浄剤を含む有害物質の利用を最小限に抑え、可能なかぎり無害なもので代用する。すべての化学製品は、保管、使用、取り扱い、処分を適切に管理する。

D2.6

騒音、照明、流出水、地表侵食、オゾン層破壊混合物による環境汚染、大気と水と土壌を汚染する物質を最小限に抑える。

CASE

川の保全のための生物分解性洗剤の導入

黒川温泉 ふもと旅館（熊本県阿蘇郡南小国町）

昔は下水処理が整っておらず、風呂の排水が直接川に流れ込んでいた。美しい川を守るための施策を旅館組合で議論し、シャンプーや石けんは、地元熊本県産で生物分解性の高いものを設置することにした。この取組は、川上に位置する里山を守るべき宿としての取組であることを、張り紙等を通じて宿泊客にも周知している。取組の成果として、周辺の川から淀みが無くなり蛍が飛び交うようになった。また、黒川温泉を大切にしたいという思いが集客や従業員の採用にもつながっている。



POINT >>> 宿泊客と従業員への幅広い選択肢

環境に配慮した取組をアピールすることで、意識の高い客層へ選択肢を与えることにつながると共に、地域のために行う取り組みに賛同する宿泊客や従業員にも選ばれる旅館になる。

その他の取組事例

- 売店では、環境にやさしい日焼け止め、虫除けスプレーを販売している。
- 劇薬に関しては、食品衛生管理の手指・調理器具・機器・容器洗浄方法ガイドラインに則り保管、適切な取り扱いをしている。
- 地域の環境に合わせて、照明による光害が発生しないよう、カーテンの質、蛍光灯の向きに配慮している。
- ボイラー排ガス測定、排水設備清掃を定期的に行っている。



D3.1

事業者は、自らの敷地と施設の適正な管理を含め生物多様性の保全を支援し、貢献している。特に、自然保護地域、生物多様性価値の高い地域などでは、注意をはらう。自然生態系へのいかなる影響も最小限にし再生させる、または保全管理に資する補償を行う。

D3.2

本来の生態系にはない生物種の侵入防止措置をとる。在来種に関しては、とくに自然景観において、なるべく風景の美化や復元のために利用する。

CASE

代々受け継がれる庭づくり

然林房（京都府京都市）

先代から作庭されてきた庭をそのままの状態を受け継いでいる。地域に存在しない見栄えの良い植物を入れるのではなく、昔から自生している木や地域固有の植物などを植樹しながら維持。

※ 本取組は、先代からの庭づくりに関する文化を引き継いでいるという点からも、C2 文化遺産の保護 の項目にも寄与

POINT >>> 庭の維持管理による景観保全と従業員の教養

この維持管理には、剪定などコストもかかる反面、宿泊している部屋からでも四季を楽しめる景観保全にも寄与しており、宿泊客からも好評を得ている。また、外来植物の中には、在来種より生命力が強く、在来種を枯らしてしまうものも少なくない。在来種と外来種の違いについて従業員が教養を持つことで、地域の保全活動に参加するようになり、地域と良い関係性を保つことにも繋がっている。

その他の取組事例

- 保全のための基金に寄付をしている。
- 庭の池にも、外来種を入れることはせず元々の形で維持管理をしている。
- 保全対象とすべき生物をリストアップしている。



然林房HP

<https://nenrinbo.com/>

事業体は、自然地域への訪問による悪影響を最小限に抑え、来訪者の満足度を最大化するための管理と集客に関する適切なガイドラインに従っている。

CASE

自然保全のためのレクチャー

仁伏温泉 屈斜路湖荘（北海道弟子屈町）

当旅館の周辺は、豊かな自然環境が広がっており、それらの自然自体が人気観光資源となっている。その豊かな自然を楽しんでもらいながら、しっかりと保全をしていくために、宿泊客に対し、**人気エリアで地域住民として守ってもらいたいマナー等についてのレクチャーも**行っている。そうして、旅館周辺では**豊かな自然が損なわれることなく、保全されている。**



POINT >>> 地域としての魅力度向上にもつながる

地域の意見を汲み取った取組を実施することで、地域と良好な関係を築ける。また宿泊施設に加えて地域としても宿泊客の満足度を向上させ、地域としての魅力度を高めることで、継続的な集客につながる。

その他の取組事例

- 自然エリアへ訪問する宿泊客に対して、ガイドの案内をしている。
- 館内に地域内で守ってもらいたいルールを記したポスターを貼り出している。



D3.4

野生生物と関わる際は、負の影響をおよぼさないように干渉せず、責任をもって対応し、野生生物に対する累積的な影響を考慮に入れた上で、野生生物の生存能力や個体群の行動に悪影響を与えない。

D3.5

国内法および国際法に基づき認可され正しい知識を備えた人物によって、適切に規制された活動を除いて、野生生物の捕獲、繁殖、飼育を行わない。すべての野生生物および家畜の施設、世話、取り扱いは、最も高い動物福祉の基準に従う。

D3.6

国内法および国際法に基づき運用が持続可能であると保証され、規制された一部の活動を除き、野生生物種を採集、消費的活用、展示、販売、または交易の対象としない。

CASE

周辺環境に配慮したライトアップ

ランプの宿 高峰温泉（長野県小諸市）

自然豊かな環境にある当館では、周辺の植生への影響に考慮したライトアップを行っている。具体的には、夜間、植物に対してライトアップをしすぎると、紅葉や落葉の時期がずれて枝折れ等の損失が生じてしまうため、**建物の周りのライトが照らす方向は下向きにする**などを行なっている。こうした取組により、**植物の生態系を守るだけでなく、美しい星空を眺めることもできる。**

POINT >>> 自然保全と観光経済活動の両立

夏場には光をコントロールすることで蛾を餌とするキツネやタヌキ、野鳥などの野生生物が宿の近くに姿を見せてくれ、宿泊客はこっそりとその姿を楽しめることで、**満足度も向上と、自然保護だけでなく、経営面でも良い取組**になっている。

その他の取組事例

- 夜間に産卵・孵化するウミガメやその他の夜行性の生物に配慮し、海側のサーチライトを消灯している。
- 日本の食文化としての踊り食い、活け作りなどがあるが、それらを嫌う宿泊客（特にインバウンド）もいるので、提供に当たっては文化的な説明をした上で、**選択制**にしている。
- ひかりが光害対策として、ダークスカイ認定の電灯に取り替えている。
- 現地の動物に餌やりをしないよう、宿泊客に対し啓蒙活動をしている。
- 地域で大切にしている植物について、宿泊客に対し啓蒙活動をしている。
- ジビエなど野生の食肉を提供している場合は、鳥獣保護管理法に準拠した食材を使用している。



ランプの宿 高峰温泉HP
<https://www.takamine.co.jp/>

持続可能な観光に係る研修・試験・認証

GSTCサステナブルツーリズム研修（STTP）

研修のねらい

- ・ 持続可能な観光についての基礎を理解しGSTC基準の各指標を学習することで、自社がなぜ取り組む必要があるのか示せるようになること
- ・ サステナブルな組織に向けて、自らの現在地を確認できるようになること
- ・ ビジネスに繋がる考え方を理解し、何を誰に売るのが戦略を立てられるようになること
- ・ 持続可能な観光に関心を持つ人々との横の繋がりを持つこと

研修の内容

GSTC公認トレーナーによる全3日間の対面研修。うち2日間は座学でGSTC基準の各4分野について座学とグループワークで学び、最終日にフィールドワークを通じて座学の内容への理解を深める、という構成。

受講のメリット

自社が持続可能な観光に取り組む上で、「研修のねらい」で示したことが実践できる人材が先導・参画することにより、効果的に取組を前進させることができる。

| | |
|------|--|
| 連絡窓口 | 研修実施を希望する場合は、まずGSTCに問い合わせること GSTC日本トレーニング担当（日本語可） jp.training@gstcouncil.org GSTC研修詳細HP： https://www.gstcouncil.org/sustainable-tourism-training/?lang=ja |
| 開催条件 | 研修時間21時間確保（フィールドワーク含む）、最大約25名（要相談） 開催者は、全日（3日間）参加者を最低10名確保 参加者はGSTC指定のオンライン参加申込にて、参加同意書に署名及び申し込み必須 |
| 費用 | GSTC研修費用：約60万円～80万円（基準は米ドルの為、為替変動により変化する可能性あり） ※施設費用、講師やゲストスピーカーの旅費は含まれない 支払方法： GSTCへは米ドルで支払い（海外送金/クレカ/PayPal）、講師への支払いは日本円で講師へ直接支払 ※費用は受講者人数の多寡によらない |
| 必要準備 | 研修会場手配、会場サポート1名の手配、講師とフィールドワーク先との視察内容調整、GSTC経由で講師の日程調整、等 |

GSTCサステナブルツーリズム試験について

GSTCサステナブルツーリズム試験

GSTC研修の全課程を修了した受講者は、GSTC公認試験の受験資格を得られる。
試験に合格した者には「GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism」
の個人向け証書が発行され、持続可能な観光人材として付加価値が高まる。



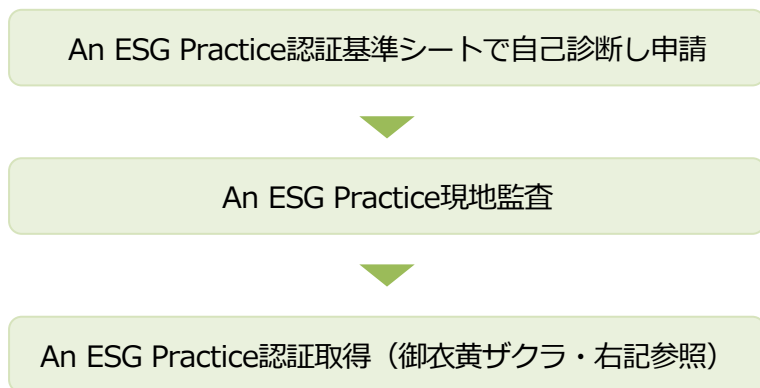
| | |
|-------|--|
| 言語 | 日本語（研修の受講言語による） |
| 費用 | 75米ドル ※オンラインでのクレジットカード/Paypal米ドル支払い |
| 試験期間 | 研修修了後試験に関する情報を受け取ってから1週間以内に試験料を支払い、試験を受け提出 |
| 試験形式 | オンライン（選択問題と記述問題） ※研修中に使用した資料その他資料の使用が可能 |
| 合格スコア | 80%以上 |

※GSTC研修受講・GSTC試験受験はあくまで理解を深めるためであり、次ページ以降の認証制度申請手続きにおける必須項目ではない。

| | | |
|--------|--|--|
| 認証団体 | 株式会社日本ホテルアプレイザル GSTC基準に準拠した基準を保持する日本の認証 | |
| 認証基準 | サクラクオリティ An ESG Practice認証基準 | |
| 連絡窓口 | 株式会社サクラクオリティマネジメント https://www.sakuraquality.com/contact 担当者：北村剛史 メールアドレス： Takeshi.Kitamura@j-h-a.co.jp | |
| 審査費用 | 基本審査料 40万円（3年毎） ※ 審査員の宿泊費交通費は実費 GSTC登録料 10万円（毎年） ※ 「5 御衣黄ザクラ」取得の場合 ※現在認定団体申請中のため、審査費用は変更になる場合がある。 | |
| 更新費用 | 更新審査 5万円（1年毎）※現在認定団体申請中のため、更新費用は変更になる場合がある。 | |
| 所要期間目安 | 約1ヶ月～2ヶ月 ※申込から認証取得までの目安。 | |
| 有効期間 | サクラクオリティ An ESG Practice認証（3年）※本認証の有効期間は3年となり、有効期間中も取組みが継続され、期間終了後は基本審査から再認証が必要となる。 | |

認証結果は、花言葉で「永遠の愛」を意味する御衣黄ザクラをモチーフとして使用し、「1 御衣黄ザクラ」から最高ランクの「5 御衣黄ザクラ」の5段階評価を採用している。

サクラクオリティ An ESG Practice認証取得プロセス

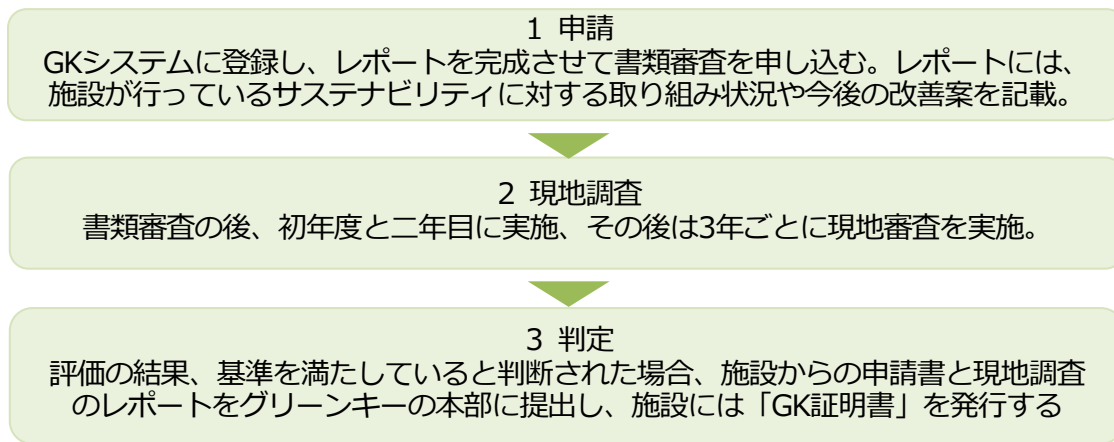


| 基本マーク | 評価カテゴリー | Sakura Quality An ESG Practice | 評価カテゴリーの表示意味 |
|-------|----------|--------------------------------|--------------|
| | 5 御衣黄ザクラ | | Leaders |
| | 4 御衣黄ザクラ | | Regenerative |
| | 3 御衣黄ザクラ | | Restorative |
| | 2 御衣黄ザクラ | | Excellent |
| | 1 御衣黄ザクラ | | Practicing |

認証制度申請手続き (グリーンキー)

| | | |
|------|--|---|
| 認証団体 | FEE (Foundation for Environmental Education : 国際環境教育基金) |  |
| 認証基準 | グリーンキー (GSTC基準に準拠) | |
| 連絡窓口 | 一般社団法人JARTA https://jarta.org/greenkey/ 担当者: 月江 メールアドレス: secretariat@jarta.org | |
| 審査費用 | 一施設、一部門あたり一律77,000円(税込、現地審査および書類審査) 別途 審査員の旅費負担あり | |
| 有効期間 | 1年間 毎年更新手続あり | |

グリーンキー認証の取得プロセス





グリーンキーは、対象となる6種類の施設（ホテルやホステル、小規模な宿泊施設、キャンプ場、ホリデーパーク、カンファレンスルーム、レストラン）それぞれに評価項目を記載した文書を公開している。全ての施設に共通している評価項目は13項目ある。

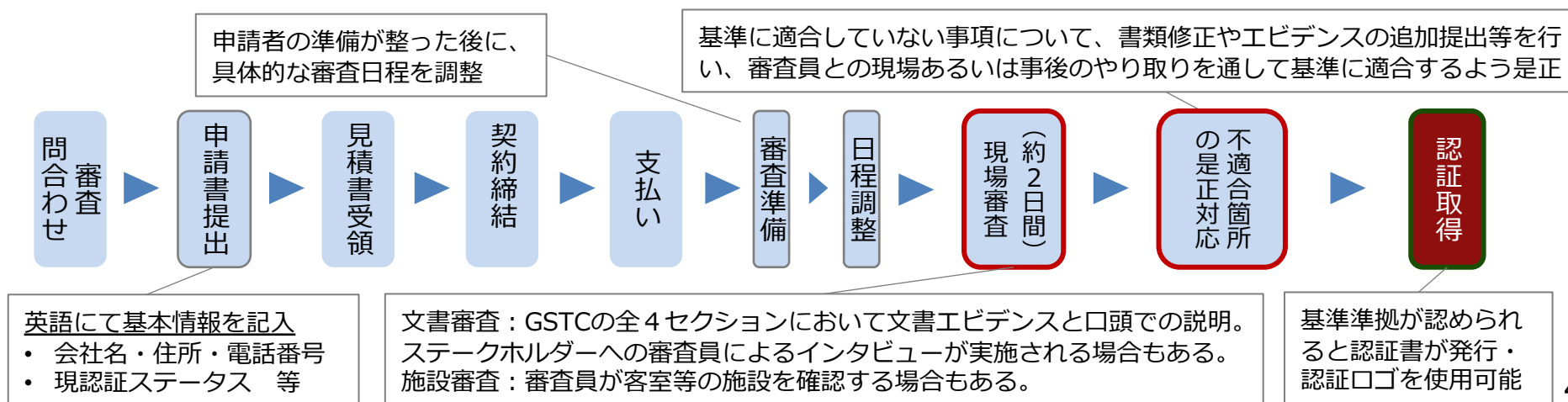
- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 環境マネジメント | 2. 従業員の参加 |
| 3. 宿泊客への情報提供 | 4. 水 |
| 5. 洗濯・クリーニング | 6. 廃棄物(処理) |
| 7. エネルギー | 8. 食品・飲料 |
| 9. 施設内の環境 | 10. 緑地管理 |
| 11. 企業の社会的責任 | 12. グリーン アクティビティ |
| 13. 組織の運営管理 | |

| フェーズ | 対象施設 | 年会費 (税込) |
|-----------|--------------------------------------|----------|
| グリーンキー取得前 | 「GKシステム登録料(登録会員)」 | 55,000円 |
| グリーンキー取得後 | ホテル・旅館 1 (100部屋未満) | 143,000円 |
| | ホテル・旅館 2 (100部屋以上) | 220,000円 |
| | 小規模宿泊施設(15部屋以下) | 88,000円 |
| | キャンプ場(オートキャンプ場、グランピングなど仮設やテントでの宿泊施設) | 110,000円 |

認証制度申請手続き (コントロールユニオン)

| | | |
|----------|--|--|
| 認証団体 | コントロールユニオン オランダに本部を置く第三者認証機関。様々な分野の認証プログラムを多く提供しており、旅行会社及び宿泊施設向けの認証プログラムは、日本人審査員によつての審査が可能。 |   |
| 認証基準 | GSTC認証 (対象：旅行会社、宿泊施設) | |
| 連絡窓口 | 株式会社Control Union Japan https://certifications.controlunion.com/ja 担当者：大村、佐田 メールアドレス： infojp@controlunion.com | |
| 審査費用 | 50万円～ (税抜) ※海外審査員招聘の場合の渡航費用 (日本人審査員の場合は東京駅起算) 及び宿泊が発生する場合の宿泊費用は別途 | |
| GSTC管理費用 | 100USD/年 ※年間管理費用はコントロールユニオンが代行して申請者へ請求し、GSTCへ支払われる。 | |
| 審査言語 | 日本語 | |
| 所要期間目安 | 約6ヶ月～ ※申込から認証取得までの目安。会社や事業規模によって異なる。 | |
| 有効期間 | 36ヶ月 ※認証を維持するためには12ヶ月毎に審査を受審。審査費用は年次審査前に別途見積り。 | |

GSTC認証の取得プロセス





二神 真美

名城大学名誉教授

GSTC STTP 公認トレーナー

「持続可能な観光」という言葉は浸透してきていますが、多くの宿泊施設にとってはこれを実現するため、具体的にどのように取り組めば良いかわからない状況にあると思われます。そのため、本書ではGSTC基準ごとの具体的な取組の事例を紹介しています。日本はその独自の魅力で世界の旅行者を惹きつけています。一部では持続可能な観光への意識が低いとされていますが、実際には、日本の宿泊施設は多くの面で既に持続可能な観光の高い基準に適合しています。今後は、そうした取組の成果について世界的な基準に照らして対外的に発信していくことが肝要です。日本の観光業に携わる皆様へ、この機会を活かして業界を盛り上げ、世界に日本が持続可能な観光のリーダーであることを示されることを期待しています。

参考資料

- 持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に向けたラベルインデックスのとりまとめ（第3版）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/page06_000382.html
- 持続可能な観光に係る取組のノウハウ集（旅行業者向け）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/page12_000001_00015.html